



# 上渚滑小だより

☆☆☆教育目標☆☆☆ 「めあてに向かって進んでチャレンジ」する子  
☆☆よく考え進んで学習する子 ☆明るく思いやりのある子 ☆ねばり強く仕事をやりぬく子 ☆体をきたえ命を大事にする子

12月 生活目標 ☆時間を大切にしよう 保健目標 ☆正しい姿勢をしよう 給食目標 ☆食べ終わったら静かにすごそう

## 豊かな心の育成に関して

「ふるさと」

育ったところ 必ずしも家庭ではない 心を育てられたところが 家庭である  
学んだところ 必ずしも母校ではない よき師よき友にめぐり会えたところが学校である  
生まれたところ 必ずしも故郷ではない 心をとどめたところが 故郷である

この文は、どんなに豪華な家に住んでも、どんなに立派な校舎で学んでも、人間が最後に行き着くところは、真に心をはぐくんでくれたところであると教えています。

家庭・学校・地域の三者がそれぞれの立場で子育ての責任を相応に分担し、社会全体で優しくも厳しく子どもの心をはぐくむことで、子どもの心に家庭や学校や故郷が「ふるさと」として宿ることと思います。

地域の宝物である子どもたちに、よき「ふるさと」を提供するのは私たち大人の責務です。

## 家読（うちどく）のお願い

「家読」とは、家庭での読書をとおした親子のコミュニケーションを図ろうという取り組みです。全国的に広がっており、学力向上に大きな効果を上げているという報告もあります。本校の子どもたちは、読書に親しみ充実した日々を過ごしています。ご家庭でも、読んだ本のこと、本から得られた知識や感想を親子で語らい、テレビでは得られない楽しい時間を過ごしていただければ幸いです。



- 1日(水) 公開研究会
- 2日(木) 芸術鑑賞会（4年生以上）  
ALT 委員会
- 3日(金) 移動図書
- 6日(月) 全校朝会
- 7日(火) 食育指導
- 9日(木) ALT クラブ⑥
- 13日(月) 学期末清掃（～22日）
- 16日(木) ALT
- 17日(金) お祭り集会 移動図書
- 22日(水) 大掃除
- 23日(木) ALT クラブ⑦
- 24日(金) 2学期終業式
- 25日(土) 冬季休業（～1/16）
- 29日(水) 年末年始学校閉庁日  
（29日～1月3日）



### キャンペーン趣旨

北海道心の教育推進会議では、子どもたちに生命を尊重する、他人（ひと）を思いやる、美しいものに感動するなどの「豊かな心」を育むことの大切さを、家庭、学校、地域や企業、団体などへ、普及、啓発する活動を展開しております。11月は強調月間として取り組みを進めています。

# 舞台上で輝いた子どもたち

10月31日(日)に、学芸会を行いました。子どもたちは、目標を持って真剣に取り組んだ成果を発揮し、すばらしい発表をしていました。全校劇では、役になりきってセリフや身振りを工夫しながら上手に演技をしていました。学級や全校の仲間と励まし合い、協力して学芸会をやり遂げたことは、子どもたちにとって大きな自信になりました。今後、この体験を生かして新たな目標に向かってがんばってほしいと思います。ご観覧いただいたご家族の皆様にご感謝申し上げます。



## 全国学力・学習状況調査結果について

今年の5月に6年生を対象に実施した「全国学力・学習状況調査」について、成果と課題をお知らせします。なお、実施人数が少ないため、全国平均との比較は行いません。

### 【国語における成果と課題】

○言葉の使い方や言葉と言葉の関係をとらえること、漢字の読み書きなどについては概ね身につけている。

▲自分の考えを示された条件に合わせて書くことが課題である。

<改善策>

- ・問題の内容を確認する。
- ・どのように書いたらよいか、モデルを提示する。
- ・個人思考をしたらアウトプットする。(書く、対話する、発表する)

### 【算数における成果と課題】

○速さと道のりと時間の相互関係をとらえて関係を考察したり、式に表したりすることについては、概ね身につけている。

▲式や図、言葉を使って答えの求め方を書くことが課題である。

<改善策>

- ・わかっていること、求めること、何を使うかなどを確認する。
- ・必要に応じて、既習事項を確認する。
- ・どのように書いたらよいか、モデルを提示する。
- ・個人思考をしたらアウトプットさせる。(書く、対話する、発表する)

## PTA 親子レクリエーション

11月6日(土)に、PTA親子レクリエーションを行いました。前半には、親子で万華鏡を作りました。デザインを工夫し、世界に一つしかない自分だけの万華鏡を完成させました。

後半は、大人対子どもでドッジボール大会をしました。子どもたちは、次から次へと大人たちにボールを当て、勝利を収めました。子ども達は、保護者の皆さんに「すごく速い球だね」「素早くよけることができるね」とほめられ、嬉しそうでした。

